

やすらぎ金沢通信 2・3月



☆ URL <https://www.ishikawa-c.ed.jp/yasuka>

☆ E-mail yasuka@ishikawa-c.ed.jp

☆ TEL 076-243-1612 ☆ FAX 076-243-1663

【艱難汝を玉にす】

やすらぎ金沢教室 副室長 谷村 誠一郎

今年1年を振り返ると、日本だけでなく世界中が新型コロナウイルス感染症に苦しみました。残念ながら、今はまだ終息することなく、ウィルスと闘う日々が続いています。私たちは、それでもわずかな光に向かって、毎日何とか懸命に前に進んではいますが、先が見えないのが現実であり、当分は正しい情報を取り込み、警戒しながら「ウイズコロナ」（コロナと共存）の時代を、工夫しながら乗り越えていかなければなりません。

さて、本年、やすらぎ金沢教室の来室相談及び電話相談の件数は、昨年度より増加しました。3月から5月の今までに経験したことがなかった臨時休業での自宅待機があり、その後6月になって学校が始まりました。しかし、なかなか自分のペースやリズムで学校生活を送ることは困難でした。授業・部活動・学校行事等もいつも通りでなく、友人とゆっくり語る空間も時間もありませんでした。ひとりで悩み続け、自分を助けてくれる人が必要でした。相談件数が増加したのは、多くの人が悩み苦しんだ結果です。そんな時こそ、ぜひ「やすらぎ教室」をたずねて相談してみてください。医療相談も可能です。

【艱難汝を玉にす】・・・私が好きな言葉のひとつです。【読み方】は、「かんなんなんじをたまにす」と読みます。【意味】は、困難や苦勞を乗り越えたことで、人は立派に成長するということです。「艱難」という言葉の意味は、困難に出会って苦しみ悩むことです。そして、「玉」には、「美しいもの」や「大切なもの」という意味があり、「玉にす」で「美しくする」や「立派にする」という意味になります。苦しみや悩みが人を立派にするという意味になるのです。また、日本で使われることわざは、中国の古典を出典としているものが多いのですが、これは西洋のことわざの意識だそうです。私たちや社会にとっても、これほど多くの困難や苦勞を味わった1年間は過去にありません。この試練や艱難を乗り越えた時、皆さんはきっと人間的にも立派な人に成長しています。そして、この言葉が、誰かが悩んでいた、苦勞をしていたりしたときの励ましの言葉になれば幸甚に存じます。（[ビジネスワード/ことわざ] から、一部引用しました）

1・2月相談状況

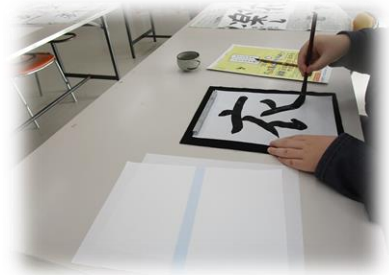
4月1日～2月28日（昨年度件数）

月	来所相談	出張相談	電話相談	合計	通室
4月～12月	546 (415)	0 (19)	325 (188)	871 (622)	244 (6)
1月	49 (35)	0 (0)	31 (12)	80 (47)	37 (26)
2月	59 (42)	0 (0)	22 (24)	81 (66)	31 (24)
合計	654 (492)	0 (19)	378 (224)	1032 (735)	312 (56)



1・2月の体験活動

書初め会



調理実習（大根めし&味噌汁）



ペーパークラフト



お知らせ

◆ 3月 医療相談会 ◆

3月 4日（木）

3月11日（木）※本年度最終です。

アドバイザー

臨床心理士・公認心理師
柏谷真由美先生（金沢医科大学病院）

- ・時間 14:00～16:00
- ・事前の**予約が必要**です。

金沢中央高校の入試に合わせて

3月10日（水）

3月22日（月）

3月23日（火）

やすらぎ教室は閉室となります。

来室はできません。よろしくお願
いします。

申し込み・問い合わせは「やすらぎ金沢教室」まで電話または FAX でお願
いします。

